

各 位

新築引渡し時の  
「塗装木質床材美装作業遵守事項」  
についてお願い 2006 年改訂版

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は工業会活動に、ご理解、ご協力を賜り有り難く厚くお礼申し上げます。

最近、新築引渡し時の清掃で美装作業をする際、塗装木質床材の樹脂ワックス仕上げにトラブル事例が発生し、お客様にご迷惑をおかけするケースが増えています。

この点に関し、三工業会では美装作業で是非守って頂きたい事項を検討し、工業会標準作業法として取り纏めました。

クレームやトラブルのない塗装木質床材の樹脂ワックス仕上げが提供できますよう、ご活用の程お願い申し上げます。

施行管理者様におかれましては、美装業者様にご指導いただきますようお願い申し上げます。

**発生しているトラブル**

- ・ 大量の水の使用により、床材が反る、突き上げる、床鳴りが発生する。
- ・ 洗剤（アルカリ性）の使用方法が適切でなく、床材が黒く変色する。
- ・ 樹脂ワックスと適合しにくい（樹脂ワックス不要の）床材に樹脂ワックスを塗布し、密着不良、白化、塗りむら、はじきが発生する。
- ・ 用途の異なる樹脂ワックスを使用して密着不良、白化、塗りむら、はじきが発生する。
- ・ 樹脂ワックスの塗布方法が適切でなく、床材がふくれる、変色する、床鳴りが発生する。
- ・ 剥離剤を使用して、床材の塗膜が破壊する、床材がふくれる、変色する。

これらのトラブルが発生すると、対応として床材の張り替えなど大がかりな工事が必要となります。

床材表面は塗装されていますので表面から水などの浸入は防ぎますが、継ぎ目は実加工のため塗装されていません。このため、継ぎ目から水、洗剤、樹脂ワックス、剥離剤が侵入すると上記のトラブル発生の原因となります。

床材に使用している塗料は樹脂ワックスを塗らなくても耐久性は充分にあります。樹脂ワックス（水性フローアポリッシュポリマータイプ）で美装を行うときは、中面の使用方法を遵守してください。

**美装作業における特に重要なポイント**

1. 正しい樹脂ワックスを選定すること。  
塗装木質床材に適した樹脂ワックスを樹脂ワックスメーカーに確認すること。  
樹脂ワックスは塗布前に目立たないところで試験塗りをして、塗りむらやはじきがないことを確認すること。
2. 塗布前の洗浄を正しく行うこと。
3. 洗浄時に多量の水を使わないようにすること。

なお、ロウタイプ（水性、乳化性、油性）ワックスを使用したり、樹脂ワックス不要の床材に樹脂ワックスを塗布した場合には、トラブルが発生する場合があります。